

科目名 (科目番号)	スポーツ障害と 理学療法 (時間割参照)	教員名	鈴木康文・永井智・ 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	木2 A305研究室	
授業概要	競技種目特性に基づいたスポーツ外傷・障害の予防方法、リハビリテーションプログラムについて学ぶ。							
目的・目標	目的:これまでに学習したあらゆる知識を統合し、スポーツにおける外傷・障害予防、理学療法を実施できるようになる。 目標:スポーツ外傷・障害の病態と発生機序を理解し、スポーツ理学療法を実践するために必要な知識と技術を習得する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	スポーツ理学療法 スポーツ外傷・障害の概念	到達目標: スポーツ外傷・障害の発生要因と特徴と発生機序について理解する。 学習内容: スポーツ理学療法の内容について学ぶ。					
	2	競技種目特性	到達目標: 陸上競技の競技特性、必要な機能的・体力的要素について理解する。(向後) 学習内容: 競技種目における動作特性と体力特性について学ぶ。					
	3	競技種目特性	到達目標: 陸上競技の競技特性、必要な機能的・体力的要素について理解する。(向後) 学習内容: 競技種目における動作特性と体力特性について学ぶ。					
	4	競技種目特性	到達目標: バレーボールの競技特性、必要な機能的・体力的要素について理解する。(高尾) 学習内容: 競技種目における動作特性と体力特性について学ぶ。					
	5	競技種目特性	到達目標: ラグビーフットボールの競技特性、必要な機能的・体力的要素について理解する。(深谷) 学習内容: 競技種目における動作特性と体力特性について学ぶ。					
	6	競技種目特性	到達目標: 野球・ソフトボールの競技特性、必要な機能的・体力的要素について理解する。(永井) 学習内容: 競技種目における動作特性と体力特性について学ぶ。					
	7	スポーツ外傷の発生メカニ ズム	到達目標: 競技種目毎にスポーツ外傷・障害の発生につながる動作の特徴を理解する。 学習内容: スポーツ外傷・障害発生メカニズムの分析を行う。					
	8	理学療法評価	到達目標: スポーツ理学療法評価のために必要な検査・測定を選択と実施ができる。 学習内容: 形態計測、関節可動域の測定を行う。					
	9	理学療法評価	到達目標: スポーツ理学療法評価のために必要な検査・測定を選択と実施ができる。 学習内容: 徒手筋力検査を行う。					
	10	理学療法評価	到達目標: スポーツ理学療法評価のために必要な検査・測定を選択と実施ができる。 学習内容: 疼痛評価、姿勢とアライメントの評価を行う。					
	11	理学療法評価	到達目標: スポーツ理学療法評価のために必要な検査・測定を選択と実施ができる。 学習内容: 整形外科的テストを行う。					
	12	スポーツ理学療法	到達目標: スポーツ現場での外傷、障害の評価と手順を理解し、救急処置が実施できる。 学習内容: スポーツ現場における救急処置について学ぶ。					
	13	スポーツ理学療法	到達目標: 代表的な体幹のスポーツ外傷・障害に対するスポーツ理学療法プログラムが立案できる。 学習内容: スポーツ外傷・障害に対する理学療法とトレーニング法について学ぶ。					
	14	スポーツ理学療法	到達目標: 代表的な上肢のスポーツ外傷・障害に対するスポーツ理学療法プログラムが立案できる。 学習内容: スポーツ外傷・障害に対する理学療法とトレーニング法について学ぶ。					
15	スポーツ理学療法	到達目標: 代表的な下肢のスポーツ外傷・障害に対するスポーツ理学療法プログラムが立案できる。 学習内容: スポーツ外傷・障害に対する理学療法とトレーニング法について学ぶ。						
成績評価の 方法・基準	筆記試験(100%) ※対面・オンライン共通							
教科書	スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・ 障害の理解と評価・治療の進め方 改訂第 2版			監修 陶山 哲夫 編集 赤坂 清和			メジカルビュー社	
参考図書								
教員からの メッセージ	必要に応じて、実技を交えながら授業を展開するので、毎回運動のできる服装・靴で参加すること。 集中講義となるので、開講日を確認すること。 企業チームでトレーナー経験のある理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							

科目名 (科目番号)		教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								

科目名 (科目番号)		教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								